

進路ナビ

平成24年6月7日(木)

第10号 千葉県立千葉工業高校
(12-3号) 進路指導部

面接練習を始めましょう！！

9日から面談週間が始まります。3年生はほとんど三者面談だと思いますが、それでも少しはいつもより時間の余裕がありますよね。このような時を利用して面接の練習をしておくことをお勧めします。まずは、4月に発行した進路ナビに書いてあった入退室の仕方を友達同士で練習する事から始めてもいいでしょう。そして、質問に答える準備をして面接指導を先生方をお願いしてみてください。(事前に相手の都合を聞くのを忘れずに...。)

せっかく面接練習をしようと思ってもポイントがずれてしまってはもったいないので、今回は面接の心得を特集します。本番でも活かせるように熟読してくださいね。

面接を受けるにあたって大事なことは、まず受け身にならないことです。面接を受ける人のほとんどが、「何を聞かれるのだろう」「うまく答えられるだろうか」「礼法がきちんとできるだろうか」とびくびくしています。とても残念なことです。面接は皆さんの良さをアピールできるチャンスなのです。これを「びくびく」で対応してしまってはもったいないでしょ！堂々と答えられるようにしましょう。

【その1】あらかじめ予想される質問には答えられるようにしておくこと。(進路資料室にある「入社試験報告書」「入社報告書」や『進路のしおり』14～15ページ参照)

進学希望の人は少なくとも志望理由が答えられないようでは困ります。できればその学校を選んだ理由とその学部・学科を選んだ理由をそれぞれ答えられるようにしておきましょう。たとえ指定校推薦だとしても、これすら答えられないと不合格になりますよ！

【その2】質問を受けたらまず返事をする事。

(例)質問者...「あなたの趣味は何ですか。」

あなた...「はい。映画鑑賞です。『パイレーツ・オブ・カリビアン』のシリーズは全て観ています。ジョニー・デップの演技に魅力を感じます。」

ここで注意したいのは「はい。私の趣味は...」のように、相手の質問を繰り返さないことです。また、「欠席は多いですか。」と聞かれて、うっかり「はい。」と答えないようにしましょう。この場合は「いいえ。欠席はありません。今のところ皆勤です。」となります。

【その3】一言で答えを終わらせないこと。

上の例でいうと「はい。映画鑑賞です。」だけで終わることです。これではせっかくのチャンスを活かせませんし、相手がさらに質問を重ねなければならず、良い展開にはなりません。それに簡単なことでも質問をたたみかけられると焦ってしまいます。そのためにもこちらから先制攻撃(?)して、質問攻めを封じましょう。「一言添える」...これがコツです。

【その4】長々と語り過ぎないこと。

【その3】で書いたことを受けて張り切って準備をし、それを相手に伝えようと、ここぞとばかり語ってしまう人が時々いるのですが、実はこれも逆効果です。何事もほどほどというのが大事で、企業の方にその企業について、大学教授に大学についての知識を長々と披露するのはかえって失礼というものです。もし、言いたいことがあるなら「特に」「中でも」「格別」「主に」などの単語を使い、絞って答えることがポイントです。十分に調べたことは全部口に出さ

なくても、言外に伝わるものです。

【その５】黙ってしまわないこと。

難しいことを聞かれ、何も言わないまま時間だけが過ぎて、目はきょろきょろ、手足はもぞもぞ...最悪のパターンですね。こういうときは、「すみません。難しくてわかりません。これから勉強していきたいです。」などと答えた方がましです。それも１回のみ有効だと思ってください。何でもかんでも「わかりません。」ではどうしようもないですからね。それと、即答しないようにしましょう。少し考えたけれども難しくてわからなかった、ということが大事なのです。１，２，３くらいおいて「わかりません...」と言いましょ。

質問者は時に「えっ？」と思うような質問を投げかけてくることがあります。それは困ったときに皆さんがどのような対処をするか知りたいということが一番です。もちろん皆さんの実力もはかっています。用意してきたと思われる質問には、よどみなく答えられても、少し外れた質問には手も足も出なかったら悲しいですね。新聞などを読んで日頃から色々なことについて考える習慣をつけるよう心がけましょ。(特に１，２年生はこれからですよ。)

【その６】真面目もほどほどに。でも言葉遣いはくずさずに。

面接官は皆さんの緊張をほぐそうと、くだけた調子で話しかけてくることがあります。そんな時ににこりともせず、真面目な顔だけだと、コミュニケーション能力に問題有りと思われる。「今年バレンタインデーに何個チョコもらったの？」なんて聞かれたら、笑顔で「残念ながら一つももらっていません。」と答えてしまいましょ。で、相手の方がかなり砕けた言葉遣いをして「彼女いるっしょ。」などと言っても、「いないっすよ。」などと答えてはいけません。「いえ、いません。」と言葉だけは丁寧に返してください。そして笑顔！！

細かいことを言えばきりがありませんが、初めに書いたとおり受け身にならないことです。自信を持って大きな声でハキハキと答えましょ。答えはぱっとしなかったけど、元気もあるし、意欲も感じられる、となれば好印象を持ってもらうこともできます。最後まであきらめないでください。

『進路のしおり』を活用しよう！！

１年生にはクラス１冊、２・３年生には一人１冊、今年も『進路のしおり』を配りました。皆さんに必要なあらゆるデータや記事が満載です。よく読んでくださいね。皆さんが疑問に思うことなどが詳しく説明されていますよ。今年は特に求人票の見方で「賃金について」や「各種保険について」が新たに加われました。「雇用形態について」も参考になりますよ。そして、直近の進学・就職データは気になるころだと思いますし、先輩のアドバイスもためになりますよ。

では問題です。○か×で答えてみましょ。

企業の方が高校生の面接で重視する要素の一番に上がっているのは「協調性」である。(p 13)

契約社員とは期間限定雇用される社員のことである。(p 10)

指定校推薦を受けるためには本校での成績さえ良ければ大丈夫である。(p 27～32)

高校生の入社試験は９月１６日開始である。(p 3)

平成２３年度東京電機大学に合格した生徒が３名いる。(p 34)

いかがですか。できましたか。詳しくは自分で確認してくださいね。

【答え】 × ○ × ○ ○